

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	警防救急課長 角田 勲	
消防-08	車両購入事業	☒ 自治事務	主管課	警防救急課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(1) 防災・安全	施策の方針	5-(1)-③消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	最新鋭の車両へ更新し、火災等各種災害に対応できるようにするため。
効果	市民及び市財を災害から守る。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

昨年度繰越明許費に設定した、大船はしご車の購入費については、予定のとおり事業を実施した。また、令和6年能登半島地震において、本市も緊急消防援助隊神奈川県大隊として出動した経験から、今後発生が予想されている南海トラフ地震・首都直下地震等に迅速に対処するため、補正予算として設定した災害対応搬送車を購入した。その他の車両についても更新を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	車両購入事業	各種消防車両の購入	購入台数(台)	3 / 1		3	300%
				258,192 / 49,311		227,536	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	75,225 /			
			地方債	36,700 / 44,400		204,600	
			その他特定財源	/			
			一般財源	146,267 / 4,911		22,936	
		事業費の合計 (千円)		258,192 / 49,311		227,536	
		人件費 (千円)			7,865	8,537	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	2.0	2.0	1.0	1.0
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	車両購入事業	更新計画通りに更新を行うことで、消防力の確保につながることから更入台数を指標とした。	災害時に支障があってはならない緊急車両として、更新計画に基づき車両購入を行うことで、災害活動時に迅速に市民へ安心安全を提供ができ、減災へ繋がる。	部品不足等で、車両納期が遅延するなど支障をきたす可能性がある。そのために車両納期の遅延を見越した更新計画を検討する。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止

事業の削減の余地はなしとしている。理由として、複雑多様化する災害に備え、車両及び資機材については災害時に支障があってはならない。しかし、部品不足等で車両納期が遅れることが懸念されるため、車両及び資機材の状況を見極めて総合的に判断し、更新計画に基づき更新を行う。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	購入台数						単位	台
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
あらゆる災害に対応するため、最新の車両及び資機材を購入し、災害時に迅速的確な活動を実施する。	目標値	13	8	10	5	1		
	実績値	8	4	8	6	3		
	達成率	62.0%	50.0%	80.0%	120.0%	300.0%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--